

1. 調査報告概要表

【評価実施概要】

| | |
|-------|--|
| 事業所番号 | 4270104013 |
| 法人名 | 合資会社ハッピーパーク |
| 事業所名 | グループホームハッピーパーク夢が丘 |
| 所在地 | 長崎県長崎市小江原5丁目25-10 (電話) 095-842-9866 |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 福祉総合評価機構 |
| 所在地 | 長崎市桜町5番3号 大同生命長崎ビル8階 |
| 訪問調査日 | 平成21年 3月 10日 |

【情報提供票より】 (平成21年 2月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | |
|--------|------------------------|
| 開設年月日 | 平成 16年 1月 1日 |
| ユニット数 | 1 ユニット |
| 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 11 人 |
| 常勤 | 10人, 非常勤 1人, 常勤換算 9.5人 |

(2) 建物概要

| | |
|------|--------------|
| 建物構造 | 木造 造り |
| | 2階建ての 1～2階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|------------|----------------|---------|-------|
| 家賃(平均月額) | 35,000 円 | その他の経費(月額) | 4,500 円 | |
| 敷金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 200 円 | 昼食 | 400 円 |
| | 夕食 | 300 円 | おやつ | 0 円 |
| | または1日当たり 円 | | | |

(4) 利用者の概要 (3月 10日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 1 名 | 女性 | 8 名 |
| 要介護1 | 0 名 | 要介護2 | 0 名 | | |
| 要介護3 | 6 名 | 要介護4 | 2 名 | | |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 85 歳 | 最低 | 74 歳 | 最高 | 96 歳 |

(5) 協力医療機関

| | | |
|---------|------------|----------|
| 協力医療機関名 | つるた医院 (内科) | まつなが歯科医院 |
|---------|------------|----------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

代表者の笑顔の絶えない暮らしを利用者が送れるような事業所にしたいとの思いから始まった取り組みは、現在事業所内に留まらず地域を含めた認知症高齢者福祉へと繋がっている。管理者は認知症の正しい理解を広めるキャパバンメイトとして行政と共に活動を始めており、今後更なる活躍が期待される。また、職員の退職がないことは事業所の特出すべき優れた点である。これは、管理者の職員を理解しようとする努力と職員に理解してもらうための努力が結果として表れている。馴染みの職員がいる空間は利用者が穏やかで、職員との信頼関係ができていくことがわかる。常に現状に満足せず、向上心を持つよう管理者は職員に課題を与え、職員は利用者本位の支援について真摯に取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4) |
| | 管理者は外部評価結果を職員に報告し、改善シートを作成し共に取り組んでおり、評価の意義も理解している。又、外部評価結果はファイルしてありいつでも閲覧できる。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4) |
| | 前回の改善項目でもあった自己評価作成は職員が話し合いながら用紙に記入して管理者がまとめて作成し職員が確認している。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6) |
| | 運営推進会議は概ね2ヶ月に1回実施している。参加メンバーとして隣町元自治会長、ニュータウン民生委員、包括支援センター職員、家族、管理者、所長、職員である。事業所の行事や状況、利用者の様子、外部評価結果報告、又参加者メンバーからの質疑応答等が活発に行われており、その成果としてバザーや議事録配布などに繋がっている。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8) |
| | 利用者や家族が意見を言いやすいように「ハッピーパーク利用者相談委員会」を設置し、管理者、主任が対応する体制を整えている。外部窓口は公的機関を重要事項説明書に記載しており、契約時に本人、家族に説明がなされている。管理者を始め、職員と家族との会話が多く何でも言える関係作りがされており現在までに苦情は出ていない。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3) |
| | 新興住宅地のため町内会がなく、隣町の元自治会長と交流をしている。近郊のスーパーの祭りや近隣施設のバザーなど地域の行事に参加している。所長が耕作している畑が傍にあり、地域の方が畑を手伝ってくれたり、利用者と共に暮らすために訪問があるなど交流は盛んである。また、地域には子供の見守りとして犬を散歩を兼ねた「わんわんパトロールしたい隊」があり、事業所も参加し地域貢献している。 |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 笑顔の絶えない利用者にするためにはどうしたら良いだろうか、との代表者の思いから「お年に関係なくこれまで生きてこられた自分らしい普通の生活を地域の一人として笑顔の虹に彩られたぬくもりのある家でありたい」の理念が作られている。散歩や買い物など地域との触れ合いの場での笑顔にも繋がっている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 昨年10月にホーム理念を基に職員が更に実践できるように具体的に6ヶ条の理念を作成した。ホーム理念、職員の理念は毎日の支援の中や申し送り確認しており、玄関入口や休憩室などに掲示し、職員は実践に向けて日々取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 新興住宅地のため町内会がなく、隣町の元自治会長と交流をしている。近郊のスーパーの祭りや近隣施設のバザーなど地域の行事に参加している。所長が耕作している畑が傍にあり、地域の方が畑を手伝ってくれたり、利用者と暮をするために訪問があるなど交流は盛んである。また、地域には子供の見守りとして犬の散歩を兼ねた「わんわんパトロールしたい隊」があり、事業所も参加し地域貢献している。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 管理者は外部評価結果を職員に報告し、改善シートを作成し共に取り組んでおり、評価の意義も理解している。前回の改善項目であった自己評価作成は職員が話し合いながら用紙に記入して管理者がまとめ作成し職員が確認している。又、外部評価結果はファイルしてありいつでも閲覧できる。 | | |

グループホーム ハッピーパーク夢が丘

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|----------------------|----------------------------------|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は概ね2ヶ月に1回実施している。参加メンバーとして隣町元自治会長、ニュータウン民生委員、包括支援センター職員、家族、管理者、所長、職員である。事業所の行事や状況、利用者の様子、外部評価結果報告、又参加者メンバーからの質疑応答等が活発に行われており、その成果としてバザーや議事録配布などに繋がっている。 | | |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 地域包括支援センター担当職員との連携ができており、運営のことや日々の支援や業務上の悩みなどを相談したり、担当者からの提案もある。又市主催のちゃんぽんミーティングに参加し、町作りにも取り組んでいる。管理者は認知症のキャラバンメイトの資格を持ち、市と連携しながら認知症の理解を求める活動を行っており、サービスの質の向上に取り組んでいる。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 家族の面会は頻繁にあり、その都度職員との交流があるため何でも気軽に相談できる関係作りができています。遠方の方でも2ヶ月に1回面会がある。年4回ハッピー通信便りで事業所の行事や防災訓練などの写真を入れ郵送している。金銭管理は月1回面接時に説明し、確認印と共に請求書、領収書を手渡しして報告をしている。職員の退職はこの1年はなく、新人の紹介は家族の面会時に行っている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 利用者や家族が意見を言いやすいように「ハッピーパーク利用者相談委員会」を設置し、管理者、主任が対応する体制を整えている。外部窓口は公的機関を重要事項説明書に記載しており、契約時に本人、家族に説明がなされている。管理者を始め、職員と家族との会話が多く何でも言える関係作りがされており現在までに苦情は出ていない。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 新人は利用者で紹介し、家族へは面会を通して紹介している。新人には慣れるまで職員が交代で付き、利用者の様子や状況の把握、又声をかけたり、寄り添いながらダメージを防ぐ配慮をしている。また、管理者は職員の退職は利用者へのダメージになることを理解しており、職員の悩みや相談に応じたり、職員だけの食事会を支援している。この1年は退職者は出ていない。 | | |

グループホーム ハッピーパーク夢が丘

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 管理者自ら実践者リーダー研修を受講しており研修に対して取り組む姿勢がある。資質向上のために長崎市、県主催や連絡協議会主催の研修などに職員の経験年数や必要に応じて受講させている。外部研修は職員会議で報告し、更に報告書を作成して職員間で回覧し閲覧できるように保管している。また、職員の悩み、相談事、又は管理者の思いや伝えたい事等を連絡帳ノートに記入して相互に理解し職員を育てることに努めている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者はグループホーム連絡協議会に積極的に参加し、同業者との情報の共有を行っている。別の地域のグループホーム連絡協議会とも交流を持っており、ありがとフェスタやバザー、芋掘りなどに職員や利用者全員で参加している。年1回のボーリング大会では職員間の触れ合いの場としての繋がりが出来ている。又他の施設からの見学や運営上の助言を受けに来るなどの交流も行われている。 | | |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 事前に利用者と家族は事業所の見学を行い、管理者は家族と話し合い情報収集をしている。利用開始後は職員が毎日の様子を見て記録し、本人と話をし性格や得意、不得意な事、生活歴等を聞いて情報を得ている。健康面においても医療計画書を作成し主治医に相談しながら対応している。利用開始時は皆に紹介し、馴染めるよう職員が日々寄り添い、声かけ、話しながら取り組みを行っている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は利用者の動作や表情など見逃さないよう気を配り、利用者に関する情報を日々細かくメモを取っている。職員は利用者を人生の先輩と敬い、昔の風習や漬物のつけ方、洗たく物たたみ、畑の耕し方など学ぶ事が多い。利用者の喜怒哀楽を即察知できるように、日々の連絡ノートや口頭にて確認し、利用者を知る努力をしながら支えあう関係作りを行っている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|----------------------|--|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者の得意、不得意な事、又性格などを利用開始時に聴取しており、その情報を基に本人に声かけしながら対応している。1日10項目行う事が挙げられており楽しみを作りながら、無理なく出来る事から行っている。意向の表出が困難な利用者は表情や動作などで把握し、寄り添いながら本人本位の対応ができるよう配慮している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 利用開始時に本人との会話から得た暮らしの希望や意向、家族の面会時に聴取した希望、主治医の医療面からの指示などを日々記録している。それらの内容を反映させ、職員間での話し合い内容をまとめて最終的に利用者担当の職員とケアマネージャーが介護計画を作成している。利用開始から約一週間で今後必要な支援を組み立てている。ただし、家族の面会時に計画を説明し同意を得るケアマネージャーがいない場合があり、説明ができないこともありそのままになっている。 | ○ | 介護計画書は本人や家族の同意を得て、日々の支援の基本とすべき重要なものであるため、ケアマネージャーが不在であっても、他の職員が説明し同意を得る体制づくりが望まれる。 |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 職員は利用者の日々の様子や状況の変化などを細かく記録し、その記録を基に毎月1度モニタリングを行っている。通常は6ヶ月に一度の見直しとしているが、利用者に変化がある場合は、その都度に見直しがされている。作成後は面会時に家族に説明するようにしている。ただし、見直しの介護計画書を家族説明することが徹底しておらず同意のサイン押印がないままとなっている。 | ○ | 介護計画見直しで変更や新たな計画などが追加され、継続である計画書であっても、本人や家族のその内容を説明し、同意を得たことがわかるようサインや押印、日付を残し互いに介護計画を共有していることが確認できるよう期待したい。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 職員は利用者が希望に沿って一緒に温泉に行ったり、理美容室への送り迎えや墓参りに同行している。また、家族の希望で自宅への送迎をするなど管理者と職員で話し合いながら柔軟な支援をしている。 | | |

グループホーム ハッピーパーク夢が丘


| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|----------------------|---|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 契約時に家族から希望の病院を聞き継続している。利用者によっては2週間に1回かかりつけ医の往診があり、職員による通院介助なども行っている。緊急時は職員から管理者、あるいはかかりつけ医へ連絡を取り、事業所の協力医他医療機関への搬送するなど、適切な医療を受けられるように支援している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 事業所では医療行為を行わないため、医療行為が伴う看取りは行わない方針である。ただし、家族やかかりつけ医の協力が得られれば職員とも話し合い取り組みたいと考えている。現在は、家族へ口頭で説明しているが、文書に明示してはいない。 | ○ | 事業所の看取りに関する方針は明確であり、文書化し家族に説明することを期待したい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 個人記録やサービス実績表などの書類は所定の場所に保管されており、薬は職員2名でチェックし誤薬のないよう注意している。利用者への声かけは丁寧で誇りを損ねないよう配慮している。職員は守秘義務に関する誓約書を作成し保管している。ただし、個人情報保護法遵守についての家族の同意書が作成されていない。 | ○ | 個人情報保護法遵守については事業所の方針を家族に説明し、写真掲載の有無等も含め家族の同意を得ること、文書として保管することが望まれる。 |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 朝の起床は、声をかけるが無理強いせず本人のペースを大切に支援している。朝から一日何をしたいか問いかけ、散歩などの希望に沿っている。表出の困難な利用者は表情やこれまでの経験から支援をするようにしており、職員間で情報を話し合いながら行っている。 | | |

グループホーム ハッピーパーク夢が丘

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 献立は前日に利用者の希望を一品入れて立てており、毎日利用者と一緒に買い物に行っている。旬の食材を使い、季節感を出すよう工夫した献立をしている。利用者は配膳や片付けなど職員と一緒にいき、食事は同じテーブルにつき日々の出来事などを会話しながら楽しんでいる。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 週に2回入浴の日を設定し、入浴剤や菖蒲湯など入浴が楽しみになるよう工夫している。入浴拒否の場合は時間をずらしたり、別の職員が声をかけるなどして支援している。体調によっては清拭で対応するなどしている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 洗濯物たたみや片付けなど利用者に役割を持ってもらい張りのある生活になるよう支援している。また、事業所の畑で栽培した野菜と一緒に収穫したり、職員と利用者1対1で買い物や温泉施設に出かけるなど利用者の気晴らしや楽しみごとの支援をしている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 外出が好きな利用者が多く、職員は日々利用者が好む外出支援をしている。食材の買い物に近くのスーパーに出かけたり、近所の散歩、畑の様子を見に行くなど外出の機会を工夫して一緒に出かけている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 夜間防犯のために施錠する以外は、鍵をかけないケアをしている。徘徊が目立つ時にはチャイムを入れることもあるが、通常は音は鳴らさず職員の見守りによる支援で、施錠の弊害がないよう取り組んでいる。 | | |

グループホーム ハッピーパーク夢が丘

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------|----------------------------------|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年に2回、避難訓練をしており内1回は夜間想定で行っている。地区の消防団に知らせ、消防署立会いのもと訓練を行い指導を受けている。毎回、発生場所を変えて実際に近い形での訓練を行っている。近隣は工場ばかりであるが、運営推進会議を通して地域の協力を求めている。 | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事は一日1500kcal、水分摂取は1500～2000ccを目標に支援しており、毎日記録している。栄養バランスはテキストを参考にしており、利用者に合わせてトロミ、キザミ、ミキサー食を提供している。また利用者の嗜好を把握し、嫌いな献立の場合は別の料理を提供している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有空間は家庭的で、明るくリビングは食卓テーブルやソファなど利用者が思い思いに過ごせるよう配慮がある。浴室やトイレ、廊下なども掃除が行き届いており気になる臭気もない。テレビの音量は大きすぎず、食事中は音楽が流れるなど快適に過ごせる工夫がある。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室は担当の職員が毎朝、掃除し窓を開けて換気しているため臭気がない。利用者の慣れ親しんだダンスやテーブルなどの家具があり、家族の写真が飾られるなど本人の居室として居心地のいい空間となっている。 | | |

※  は、重点項目。